

第3期松江市中心市街地活性化基本計画（案）のパブリックコメント実施結果

本市では、令和元年8月9日（金）から令和元年8月23日（金）までの期間、「第3期松江市中心市街地活性化基本計画（案）」についてのパブリックコメントを実施しました。いただいたご意見とそれに対する本市の考え方を以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

1. 意見総数：3件（2人）

2. いただいたご意見とそれに対する本市の考え

No.	該当箇所	ご意見・提案内容（要旨）	市の考え
1	概要版 P5 及び本案 該当ページ	<p>既存ストックの活用など、まちなかの活気の創出については、商店街活性に拘らず、未利用地の整地・集約化によるcoco松江のような複合施設建設も視野に入れるべき。</p> <p>理由</p> <p>殿町エリアは若者にとって魅力的な商業施設・娯楽施設がないことが、空洞化の一因と思われる。商店街組合による共同経営の複合施設なども選択肢の1つ。</p> <p>寺町エリアについても景観を阻害しない複合施設（スティックビル程の高さは要らない）が必要だと思われる。ポートピア松江やスティックビルなどの既存ストックについても用途の在り方について見直すべきである。</p> <p>ここでいう複合施設には賑わい低下をせき止める意味合いもある。</p>	<p>平成29年に実施した高校生・中学生アンケートでは、「希望する5年後の松江市の姿」について55%が「遊びや食事、買い物が楽しめる魅力的な場所が充実したまち」を選択しており、また、中心市街地内には娯楽施設が不足していることから、多世代が楽しむことができる娯楽施設の立地誘導を図っていきます。</p> <p>いただいたご意見については、今後の中心市街地のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>

2	概要版 P8	<p>インバウンドについては、特定の地域に偏らない誘客戦略を盛り込むべき。</p>	<p>松江市のインバウンド推進施策は、中心市街地に限定せず、玉造温泉や八束町、美保関町などにある多様な観光資源を活用したインバウンド誘客を推進しています。</p> <p>中心市街地活性化基本計画は、中心市街地地域の活性化を目的とした計画のため、本計画においても中心市街地のインバウンド推進施策について記載しています。</p>
3	計画書案 P53	<p>若者が中心市街地を訪れたいくなるような拠点や店舗を整備していくことで、賑わいが生まれるように市として取り組んでほしい。</p>	<p>第3期松江市中心市街地活性化基本計画では、目指す中心市街地の都市像を「歴史・文化・水辺を活かす、若者が活躍する松江のまちなか」とし、遊休不動産を所有するオーナーと若い起業家のマッチングをすすめる仕組みづくり（水の都松江のまちの Re-project：88頁）に取り組むことで、意欲的な若者が魅力的な店舗を開業し、若者にとって魅力のある中心市街地となるよう推進していきます。</p>